

平成17年度 第4回 理事会議事録

平成18年3月3日(金) 於：水前寺共済会館

出席者 会長：魚住 事務局長：今坂 研究部長：大岩
理事：柴尾(荒玉) 井上(鹿本) 満田(菊池) 藤原(阿蘇) 坂本(熊本)
中川(上益城) 赤星(宇城) 早田(八代) 森山(人球) 大窪(水葦) 濱(天草)
事務局員：高田(総務) 山下、萩尾(事業) 丸塚、大井(会計)

1 開 会

2 会長挨拶

3 経過報告 2 / 2 3 全事研評議員会 追加

4 議 事

議長選出 (阿蘇地区 藤原理事)

平成17年度事業報告

1 総括

2 会務運営報告

3 研究推進報告

事務必携・会報・HPについて

研究部員は研究大会、会報、事務必携作成など一年を通じて切れ間無く仕事があり、研究部員にとって負担感が大きい。会報や事務必携の内容もマンネリ化していて、会員からの反応もなく、良いアイデアが浮かばないこともあるので、

会報とホームページ管理運用を担ってもらうスタッフを新しく配置できないか。

理事・事務局員の中から会報、事務必携担当を出してもらえないか。

以上二点を次年度からの課題とするということを確認しました。

また、必携について最近会員から磁気データによる必携内容の提供を望む声が出てきているが、ペーパーレスになった場合どのような問題点があるか色々と検討していくということになりました。

他にも会報のサイズは現在見開きA3サイズであるが、A4サイズにできないかという意見、会報の電子化をしHP上で公開すれば会員に届ける手間も省けるという意見、また、電子とペーパー両方とも作成したらという意見等々ありました。

各機関に会の理解を得るために会報を配っていることもあるので、ペーパーは残してもらい他の意見は次年度以降検討するということになりました。

職務標準の必要性について

職務標準については、研究の段階から自治体における制度化に向けての取り組み・対策を考える次期に来ているという意見がでました。県で発出することが不可能であるなら、市町村段階で

出すということも考えられます。学校人事課では、市町村の教育委員会が出すべきという見解を示しており、市町村段階で各地区で取り組み、各市町村から県教育委員会に働きかけてもらう方法もあるという意見ができました。私たちの職務内容にはルールがあってしかるべきであり、人事評価制度や共同実施にも深く関わる面があるため、各地区、県両方とも並行して取り組むことが大切であると確認しました。

平成17年度の主な行事

4 一般会計中間報告

- ・旅費の残額が昨年度に比べて多かったのは旅費条令改正、会議の精選・同時期日開催によることを確認。
- ・熊本市は本日8名分会費納入がありました。未納者があと30名ほどおり、これからも納入の可能性があるということでした。

5 大会会計決算報告

- ・使用料賃借料の更正予算はパレアホールを分割して使用できなかったため、急遽カーネーションホールを借用したためであることを確認。
- ・報償費は講話が県教委と文部科学省の行政説明であったため、残額が多かったことを確認しました。
- ・大会会計の繰越が70万円を超えており、来年度以降も謝金不要であることも考えられるので、大会参加費を引き下げたらどうかという意見がありました。以前参加費を2000円に繰り下げた時やりくりが大変だったこともあるので引き下げは行わないということを確認しました。今年度予算は繰越金額を除いた単年度予算だけみると赤字であるという点も考慮にいれました。

6 事務必携特別会計決算報告

平成18年度（第32回）県大会について（案）

10月25日（水）・26日（木）

1 会場関係について

全体会場について

- ・鶴屋ホール10/25, 10/26ともに申請済み

分科会場について

県民交流会館パレアホール	312名×1室
パレア会議室1	123名×1室
鶴屋ホール	200名×2室
鶴屋カーネーションサロン	120名×2室

以上を借用申請中。

パレアホールについては、今のところ九州大会に準じた取扱をして頂くことにより一年前からの借用を受け付けてもらっているが、今後、県教委との関わりが不可欠になってくると思われるので、毎年行政説明をしてもらうなど、県教委共催と同等であるということを伝えていくということを確認しました。

2 大会基本計画

1 大会テーマ（仮）

変革の時代に対応した学校事務の創造

- 教育に資する学校事務の実践をとおして -

・次年度から第二期研究推進5か年計画となるので研究部で話し合ったものです。目的は変更無

3 全体研究会実施計画

テーマ「学校事務職員制度の課題と展望」(仮)

・研究部の発表、県教委の行政説明、文部科学省の行政説明の内容構成で計画。毎年時間に無理が生じるので、終わりの時間を例年より15分延長して16時15分にするということを確認しました。内容については、新年度に入ってから提案になります。

・講師謝礼は積み立てし、ある程度の金額になって講師を招聘するということも考えられるという意見が出ました。来年度は全事研加盟後初の県大会なので是非文部科学省から行政説明に来て欲しいと全事研に伝えてあるということです。

4 分科会運営要綱

各地区のレポート予定

荒玉未定 希望は事務改善 鹿本備品管理 菊池検討中 阿蘇未定
熊本未定だが法整備でできれば 上益城学校統合・合併 宇城休み 八代休み
人球未定 水葦休み 天草未定

事務必携の作成について

3/8(水)発送予定 発行部数640部

その他の協議事項

役員選出について

事務局員・・・県北・県央・県南の理事でブロック別に相談し選出。水葦地区は会員数が減少するので県南地区で早めに話し合うということを確認しました。

その他の連絡事項

・全事研41回大会(H21)は福岡市で開催。熊本でも分科会を一つ受け持つということを確認。

平成18年度熊事研役員について

理事・研究部員は4月末まで事務局員は3月末まで事務局(萩尾)までファックスを。

・熊事研HPに全事研コーナー新設の紹介。

・全事研会費納入は会費を納入してから会員とみなされるため、平成18年度限り総会がある7月までに納入しなければならないので各地区より事務局に6月末まで納入を。(一部でも可)事務局から全事研に7/10までに納入予定。残りの額は10月末まで納入。平成19年度からは10月末までの納入ということを確認しました。

・熊事研会報配付は理事会後10日ほどで発行予定。できるだけ早めに各地区で配付してください。

会長選考委員より (早田理事)

・第3回理事会後、会長、事務局長、研究部長、選考委員の柴尾理事、満田理事、大窪理事を交えて話し合い選考を行いました。

会長 熊本市立東部中学校 川上安生氏

魚住会長は2年間勤められたので辞退。

熊本市周辺でこれまで県事務研に関わりのあった方が適当であると考え依頼。当初は辞退されましたが、2/24に1年間を目途に了承頂きました。

事務局長 現事務局長 今坂 文枝氏

研究部長 阿蘇地区の藤本久美子氏

以上新年度第一回理事会で報告予定。

請願結果について

・義務教育費国庫負担制度の見直しにかかる人件費の財源確保についての請願は12月14日付け熊本県議会に於いて可決されました。

理事より各地区の現状報告

来年度の分科会レポート

・3地区がレポート報告見送りということもあり、役員の余力があれば研究部主催の分科会設置も考慮にいたいということで研究部長より協力を依頼されました。